

公益社団法人私立大学情報教育協会  
平成 25 年度第 1 回 FD 情報技術講習会運営委員会議事概要

- I. 日 時：平成 25 年 9 月 7 日(土) 午後 2 時から午後 4 時まで  
II. 場 所：公益社団法人私立大学情報教育協会、会議室  
III. 参加者：高橋担当理事、田宮委員長、竹内委員、及川委員、金子委員、今井委員、  
枋尾委員、渡辺アドバイザー (Skype)、山本アドバイザー  
事務局：井端事務局長、森下主幹、野本 (記)

IV. 検討事項

1. 講習会計画に向けての検討について

- ・ 参加者アンケートと委員の評価から下記の検討が進められた。
- ・ プレゼンテーションコースは、パワーポイントより新しいコースを設定してはどうか。
- ・ 双方向、アクティブラーニングの講習。タブレット活用などの動きが加速している。
- ・ 機材に触れながら初めての人でも一斉授業を支援できるもの。
- ・ 検討はコースメンバーを確定し、コースの検討を充実させたい。
- ・ アドバンスドコースは、授業で活用できる技術に関する実習の希望があり、興味はあるが利用がわからない ICT 関連技術に関して、ライトな技術的講習をしてはどうか。
- ・ 学生参加型の授業にむけ、アクティブラーニングの基本テクニック、LMS やタブレットなど学生をどう引き込んでいくかを考えたい。
- ・ 授業デザインでは計画を再検討する必要がある。
- ・ 例えば医歯薬系は知識をどのように教え込むか教える時間もない、PBL は医学で実施している授業で新しい感覚ではない。TBL 講義型ではチームで検討、チームで勉強。
- ・ 知識は Web で学修、そこで双方向の授業実施ではどうか。Web ラーニング、学修時間の確保、ネットコンテストなど
- ・ 学内の FD ではまだ技術的な要望がある。
- ・ 対面と ICT の切り分けを考えたい。
- ・ Future Skills Project では、問題発見する土俵からグループで検討し、異分野の視点で競争・評価・振り返りがあり、自ら勉強しなければいけないものである。主体性を身に付けることが必要ではないか。
- ・ 共通講義では、多様な形の紹介が必要ではないか (主体的な学び含めて)
- ・ 授業デザインコースはマネジメントもふくまれるのではないか。
- ・ コースの検討や運営に関して、必要に応じて教育工学の専門家や PBL の専門家など、委員やアドバイザー、協力者として参画いただくことも考えたい。

2. コースは案として以下のように設定された、各担当を決めた。

- ① 電子教材作成コース
- ② LSM 活用コース
- ③ 授業マネジメントコース

なお、研究講習会の趣旨などに「アクティブ・ラーニングのための」の表現をいれる。

V. 今後のスケジュール

- ・ 日程は翌月開催を予定し、メールで調整することにした。
- ・ 次回はコース及び全体会の概要の検討を行うことにした。